

「六甲山の治山の歴史を訪ねる」ツアーの開催

神戸県民センター 六甲治山事務所

1. はじめに

六甲山は江戸時代から明治時代にかけて過度な立木伐採や採取が行われてきたこと、山火事などにより、大部分がはげ山になっていました。また六甲山の地質は主に花崗岩で脆く崩れやすい性質を持っていましたので、水害や土砂災害を度々起こしてきました。このため、明治35年から、はげ山復旧として神戸市が植林を開始し、その後の土砂災害を教訓に治山・砂防施設が整備されてきました。再度山には今も植林のために築かれた明治の石積みの遺構や治山施設が残っており、数多くの施設が災害防止に効果を発揮し、現在の緑豊かな六甲山の礎になっています。

このたび、これらの遺構及び造林台帳・砂防工事台帳などの資料が「再度山の植林と関連資料」として令和2年5月27日に兵庫県で2番目の林業遺産として認定されました。

この貴重な箇所を広く一般住民に知ってもらうため、再度山に今なお残るこれらの遺構や周辺の治山施設、大龍寺周辺に残された照葉樹林を歩いて巡る「六甲山の治山の歴史を訪ねる」ツアーを開催

しました。

当ツアーは今年度で4年目の開催になりますが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施してきた講演会を取り止め、現地見学会のみとし、参加人数も例年の40名から30名の募集とし、1班7名程度になるようにしました。開催日の感染症予防対策としては、受付前の手指消毒、検温、体調チェックを行ったほか、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保などを参加者にお願いしました。また、バス定員の半分程度になるよう中型バス2台に分かれて乗車してもらう等、密を避ける対策を講じて開催しました。



西神戸庁舎での検温・体調チェック



再度山を背景にした参加者

2. 開催概要

(日時) 令和2年12月3日(木)

(場所) 再度公園周辺

(再度公園―大龍寺―蛇ヶ谷―再度公園)
(参加人数) 23名

西神戸庁舎から、中型バス2台で再度公園まで移動し、パネルを使って六甲山の植林と治山の歴史の概要説明を行った後、4班に分かれて、2班



見学コース



案内チラシ



④ 古い石積堰堤



②-2 林業遺産認定証



① 六甲山の植林と治山の歴史の概要説明



④-2 昭和44年施工のスリット式治山ダム



③ 自然観察会実施状況



② 明治時代の石積み遺構

まず時計回りと反時計回りに周回コースを案内しました。
また、治山施設等の説明に加え、森林インスタラクター兵庫による自然観察会も実施しました。
【主な見学ポイント】
① 修法ヶ原池からの再度山ビューポイント
はげ山だった明治時代と現在の森林に回復した姿を比較

② 明治時代の植林と石積み遺構

植林のために積まれた石積みと現在の植生状況

③ 照葉樹林

社寺林として守られた大龍寺周辺の植生状況

④ 蛇ヶ谷の治山施設

古くからある石積み堰堤や昭和42年災害などにより設置された治山ダム

3. 参加者のアンケート結果

当日行ったアンケートの結果、参加者の全ての方から「とてもよかった」、「よかった」との回答をいただきました。また、印象に残ったものとして、「明治時代の石積み」を多くの方が挙げていました。

【参加者の意見・感想】

○ 先人達が苦勞された植林と治山の歴史が良くわかりました。

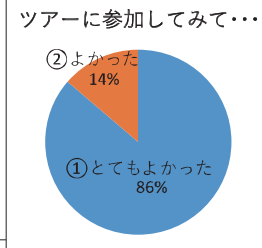
○ 植生の見方が非常に勉強になり、いろいろな時代のダムが見れて違いが面白かった。

○ 再度山の植林を指導した本多静六博士の評価が正しく知らせられるようにしていただきたいと思えます。

○ 明治時代の石積みに案内板を設置してはどうか。

○ 山歩きの際、何気なく通り過ぎていたが、これからは先人の苦勞や偉業に感謝して歩きたい。

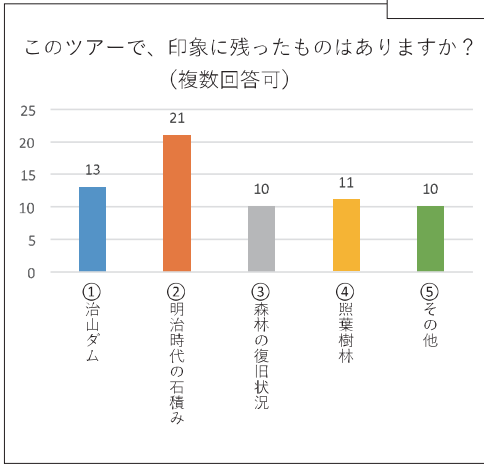
○ 防災の心がけはいつ何時も忘れないことが重要
○ 植生と土木工事の組み合わせが良かった。



4. おわりに

今年度はコロナ禍の影響により、開催すべきかどうか迷いましたが、徹底した感染予防対策を行ったうえで、実施することにしました。参加者も集まるか懸念されましたが、定員の2倍以上の申し込みがあり、今回の最高齢の参加者は88歳の方でしたが、健脚でウォーキングを終えることが出来ました。

これからも再度山の林業遺産認定を契機として、明治時代の遺構や治山施設など実物を見て体感してもらおう「現地見学ツアー」を実施し、県民に森林保全の重要性や土砂災害に関する知識、防災意識、自助意識の向上に寄与出来るよう取り組んでいきたいと考えています。



参加者アンケート結果